

平成27年度事務事業評価シート(26年度実績)

◎基本情報

事務事業名	鳴門市人権教育推進協議会支援事業		担当部署	教育委員会 生涯学習人権課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	鳴門市人権教育推進協議会運営 補助金交付要綱	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがい感じる まちづくり	事業 期間	開始	昭和 <input type="text" value="47"/> 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なる			終期
(小項目)		人権			
施策	1	人権の尊重			
基本事業	2	人権教育の推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理						
事業対象	誰(何)を対象にしているか	市民						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	本市における社会人権教育推進の中核をなす鳴門市人権教育推進協議会への支援を継続して行う。						
事業計画	26年度に何を計画していたか	街頭啓発・各種研究会等への参加、人権地域フォーラム等人権問題研修会を開催し、企業部会や地区人推協でも引き続き人権教育・啓発による積極的な取り組みを推進するための支援を行う。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	単位
		協議会事業に参加いただいた総数	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	26年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	今なお、同和問題をはじめとした人権に関わる諸問題が厳存するなど、多くの課題が残されている現在、これまでの人権教育・啓発で積み上げられてきた成果や手法を生かしながら、すべての人権問題解決につなげていく人権教育や人権啓発として再構築をはかり、「差別のない明るく豊かなまちづくり」の実現に向けた実践活動を推進していく市人推協の活動を支援する。						
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		25年度実績	26年度実績	27年度目標	28年度目標	29年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	人推協として開催または参加した事業数	38	38	38	38	38	件
	2	社会人権教育講師団派遣回数	3	2	10	10	10	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	協議会事業に参加いただいた総数		5,599	5,005	—	—	—	人
	目標達成率(実績/目標)			111.2	—	—	—	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり					

(千円)

財源内訳	平成26年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額	0	0	0	0	1,190	1,190	
		全体予算額	0	0	0	0	1,190	1,190	
		決算額	0	0	0	0	1,190	1,190	
		繰越額	0	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員(6,878千円/人)	臨時職員(2,023千円/人)	総人件費		総事業費			
	0.5	0.0	3,439	4,629					

【事務事業名：鳴門市人権教育推進協議会支援事業】
(千円)

事業費推移	年度	25年度決算	26年度決算	27年度	28年度	29年度
	事業費	1,911	1,190	1,190	1,190	1,190
	うち一般財源	1,911	1,190	1,190	1,190	1,190
	人件費	7,121	3,439	3,439	3,439	3,439
	総事業費	9,032	4,629	4,629	4,629	4,629

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値	所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった	<p>今なお同和問題をはじめとした人権に関わる諸問題が厳存し、多くの課題が残されている。今後とも人権教育・啓発活動を一層推進していくために必要な組織である。</p> <p>地区人推協および企業部会を支援するとともに、各種人権教育研究大会などへの参加派遣により、市民の人権意識の向上を図った。</p>
	効率性	A:効率的だった	
②成果に対する評価	指標名	協議会事業に参加いただいた総数	
	目標	4,500	人
	実績	5,005	人
	評価	A:目標を達成できた	
③総合的な評価		B	<p>多くの市民が人権に関する多くの課題の解決を望み、その実践手法や啓発行動を理解し、共に歩みたいという気持ちが参加者数として反映している。</p> <p>人権に関する多くの課題が残されている中、すべての人権問題解決につなげていく人権教育や人権啓発の実践の場として活動の支援が行えたことでB評価としたい。</p>

◎今後の方向性(ACTION)

課題	<p>市人推協は、教育委員会と共催して、人権地域フォーラム・人権教育研究大会・ヒューマンライツメッセージなど人権問題研修会の開催や街頭啓発・各種研究会等を実施し、同和問題をはじめとする人権問題解決につなげていく人権教育や啓発に積極的な取り組みを推進する。また、企業における社員研修や、地区人推協では、各種研修会や地区人権文化祭を開催するなど、市民の人権意識の高揚に努める活動を事務局として支援する。</p>				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H27年度	<p>街頭啓発・各種研究会等への参加、人権地域フォーラム等人権問題研修会を開催し、企業部会や地区人推協でも引き続き人権教育・啓発による積極的な取り組みを推進するための支援を行う。</p>			
	H28年度	<p>継続実施する。</p>			